

事業計画

平成19年4月1日から
平成20年3月31日まで

事業方針

本年度は当団体が社団法人としての本格的な活動元年にあたる。公益性の観点から社会の期待に応え、循環型社会の構築に役立つ事業者団体としての実績づくりに励む年度と位置づけられる。

昨今の再生資源価格の回復傾向などを背景に、荒川区や中野区をはじめとして古紙の行政回収を集団回収に切り替える自治体も散見されるようになってきた。

すでに多摩地域で実施されているが、23区内においても家庭系ごみの有料化が現実味を帯びてくると考えられ、ごみから分けられた再生資源の排出量が急激に増えることが予想される。

再生資源の受け皿の役割を担う当業界としては、再生資源の流通に混乱をきたすことがないように、リサイクル現場と都民の接点を拡大し、全都をあげて効率的なリサイクルが促進されるよう事業展開を進める必要がある。

そのためには分別の徹底についての普及・啓発活動の他、リサイクル動向などについての最新情報を整理し発信することでリサイクル事業を円滑に運営する努力が今まで以上に求められてこよう。

その意味で、再生資源の流通実態調査を継続的に行い、都民に可能な限りリアルタイムなリサイクル現場の情報を提供する必要性はより高まるものと思われる。一方で都民・事業者におけるリサイクルへの関心も高まり、具体的なリサイクル方法等について相談を受ける体制を拡充させる必要がある。

事業計画

- 1 再生資源リサイクルに関する調査研究・ならびに情報交換
 - 都内集団回収実態調査
 - 集団回収及び家庭系ごみ有料化に伴う効率的リサイクルシステムの研究
 - 行政との情報交換会
 - (東京都環境局4回/年、東京二十三区清掃協議会1回/年、多摩地域清掃協議会1回/年)

- 2 再生資源リサイクルに関する研修事業
 - リサイクル技術・システムセミナーの開催(1～2回)
 - 例:古紙・びん・缶・鉄スクラップ・古繊維を中心に最新事例報告
 - リサイクルコストの社会的な負担のあり方についての講演
 - 廃プラ等新たなリサイクル品目について事業拡大に資する動向報告

再生資源のモーダルシフト化に参考となる事例報告
再生資源用途開拓検討につながる事例報告
ISO14001、エコアクション 21 認証取得に関するセミナー
リサイクル業界への就業講習の開催(高齢者・U30・海外研修生)
官公需適格組合認証に関するセミナー
行政のリサイクル・環境施策に関するセミナー
廃棄物欠格要件に関するセミナー

資源化施設・リサイクル先進都市等見学会の開催(1～2回)

例:海外リサイクル動向視察
ゼロエミッション工場視察
エンドユーザー工場視察

3 再生資源リサイクル事業を行う者に対する相談指導事業

例:グリーン物流促進に関する指導・車両のあっせん
資源抜き取り問題に関する指導
法令遵守に関する指導
計量業務適正化に関する指導

4 再生資源リサイクルを円滑に行うための普及事業

リサイクルフォーラムの開催(主催・後援・協賛 - 1～2回)
小・中学校へリサイクル出前講座(講師の派遣 - 随時)
子どもリサイクル体験ツアー(ヤード見学)の実施(1回)
インターネットによるリサイクル相談サイトの開設(サイト新設)
電話によるリサイクル相談の受付(随時)

5 機関誌の発行事業

(「we♥(ラブ)りさいくる」)の発行(4回/年)
<配布先:自治体・市民団体・会員>

6 顕彰及び表彰に関する事業

例:リサイクル市民団体(集団回収団体・NPO等)への顕彰
未来リサイクルアイデアコンテストの開催

7 その他法人の目的を達成するために必要な事業

なし